

保護者の皆様

川崎市立南野川小学校

校長 野村 智

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 南野川小学校における今後の取組について

日頃から本校の教育活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

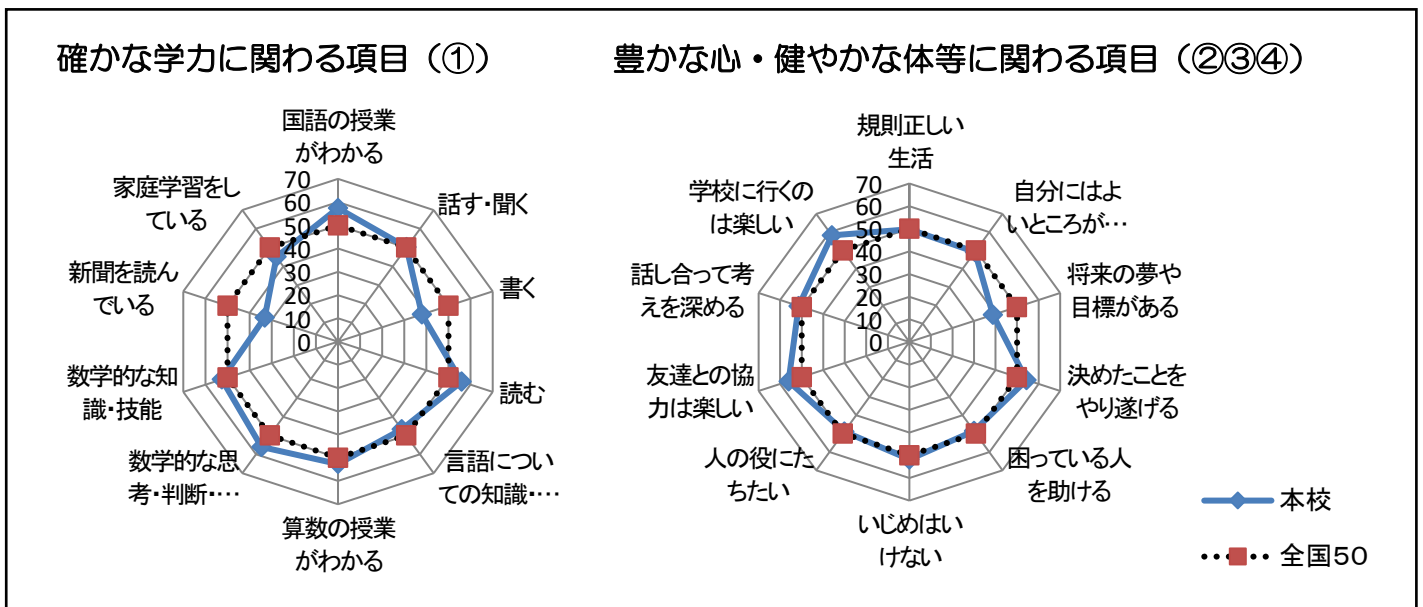
本校では、「みんなと育つ南野川の子」を合言葉に、学校教育目標「たくましい子 のびる子 力を合わせる子 あかるい子」の実現を目指し、以下の4点を重点に日々の教育活動を進めております。

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 確かな学力の育成 | ② 児童指導の充実 |
| ③ 豊かな心・健やかな体の育成 | ④ 開かれた学校・安全安心な学校 |

5月27日(木)に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査につきまして、本校の学校教育目標並びに学校経営方針を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。

なお、この調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。学校、保護者、地域の方々が課題や願いを共有し、力を合わせて子どもを育てていけるよう、本調査の趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 本校の調査結果概要グラフ ※全国結果を50とし、それに対する本校の結果を表しています。



2. 調査結果をもとにした分析と今後の取組

※これまでの課題に対する学校の取組 成果 課題 分析 今後の取組

※示している数値…「当てはまる」「どちらかという当てはまる」を合わせた数値。() は全国平均。

〈1〉「確かな学力の育成」について

「授業がわかる」の回答が全国平均を上回るよう、具体物を用いた活動を取り入れたり、反復練習をする時間を確保したりすることで、一人一人が学力の向上を実感できるような授業を目指して取り組んできました。

- ◎授業がわかる…国算平均 89.5% (84.4%)
- 国語「読む」…53.1% (47.2%)
- 算数「思考・判断・表現」…71.2% (65.1%)

- 国語「書く」…48.6% (60.7%)
- 国語「知識・技能」…65.0% (68.3%)
- 家で勉強している…69% (74%)

国語・算数ともに、「授業がわかる」と回答した児童がおよそ9割で、授業内容は理解していることがうかがえます。算数科においては全ての調査項目で全国平均を上回っています。少人数指導などによる、きめ細やかな支援を行ってきた成果と捉えています。

「書く」「言語についての知識・理解」の正答率が全国平均を下回っています。また、「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童が7割未満と、全国平均も下回っています。一方、ゲームをする時間の長さが全国平均よりも長く、「3時間以上」と回答した児童が49.3%でした。(全国29.0%)新聞を含めた読書量も少なく、家で様々な言葉に触れる機会が少ないことが結果の一因になっていると考えられます。



読書は、語彙を増やしたり、興味関心を広げたりと学びを支える上で大きな力になると考えています。読書の習慣が身につくよう、図書室や学級文庫などの読書環境を整えていきます。また、漢字の習得が語彙の豊かさに結びつくものと考えています。漢字を正しく読んだり書いたりすることができるよう、習得した漢字を各教科等の授業や生活の様々な場面で意識的に使うよう指導の工夫を図り、「書く」および「知識・技能」の数値が全国平均に近づくよう継続的に指導していきます。

〈2〉「児童指導の充実」「豊かな心・健やかな体」「開かれた学校・安全安心な学校」について

「礼儀・感謝・思いやり」を重点目標におき、道徳教育の充実を図ってきました。また、特別活動や行事等の様々な場面で効果的な声掛けをすることで、児童の自己有用感が高まるように指導・支援を行ってきました。

- ◎友達と協力するのが楽しい…100% (93.9%)
- 学校に行くのは楽しい…91.6% (83.4%)
- いじめはいけない…98.6% (96.8%)

- 自分にはよいところがある…76.1% (76.9%)
- 将来の夢や目標をもっている…69.1% (80.3%)
- 人の役に立ちたい…94.3% (95.5%)

「友達との協力は楽しい」と回答した児童は100%でした。「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答した児童も全国平均を上回っており、日頃から友達との関わりを大切にしながら過ごしていることがうかがえます。そのことが「学校に行くのは楽しい」と答える児童の多さにもつながっていると考えています。

「将来の夢や目標がある」と回答した児童が7割未満と、全国平均を下回っており、課題であると捉えています。しかし、「自分で決めたことはやり遂げる」と回答した児童は88.7%で、全国平均を上回っています。目標が明確になれば、その目標や夢に向かって自分のもっている力を発揮できると言えそうです。



キャリア在り方生き方教育で目指す「将来に夢や希望を抱きながら、自分に自信をもって生活できる子」の実現に向けて教育活動を見直すとともに、道徳教育の一層の充実を図ることで、児童が自分自身を見つめて成長を実感し、達成感や自己有用感を感じられるよう活動を工夫します。本校のよさである「周りの人たちとのあたたかなつながり」の中で、互いの良さを認め合い、伝え合う活動を充実させることで、「自分にはよいところがある」「人の役に立ちたい」と答える児童の割合が全国平均を上回ることを目指します。

教育委員会から

南野川小学校では、反復練習や少人数指導などきめ細やかな学習支援を行ってきたことで、授業がわかると感じている児童の増加につながっています。また、道徳教育の充実により、他者を思いやる心が育まれてきており、友達と過ごす学校生活を楽しいと感じる児童の姿として表れていると捉えております。

宮前区・教育担当